

平成30年12月10日

愛知県上海産業情報センター
余語 克昭

一般調査報告書 愛知の医療ツーリズムについて

1. 中国国際医療旅游（北京）展覧会出展

愛知県では、本県の優れた医療技術の提供による医療の国際化の推進を図り、併せて訪日外国人の本県への誘客を促進するために、2016年度より医療ツーリズム推進に向け「あいち医療ツーリズム推進協議会」を設置する等、官民一体となって医療ツーリズムに対して積極的に取り組んでいます。

2018年11月、中国の医療関係者等に向けた県内の医療サービスのPRや、中国から愛知県への医療ツーリズムの促進を目的に、県及び県内医療機関等が参加し、第10回中国国際医療旅游（北京）展覧会に出展しました。当産業情報センターでは、現地で出展のサポートをするとともに、医療ツーリズムに取り組む医療機関や団体と情報交換を行いました。

<第10回中国国際医療旅游（北京）展覧会 概要>

会 期：2018年11月16日～18日

会 場：中国国際展覧中心（静安庄館）（北京市）

主催者：広州正和会展服务有限公司、世界医療旅游産業連盟

出展者：38国家・地域から230強の医療コーディネーター、
医療観光機構等が出展

来場者：旅行業者、医療渡航関係者、医療関係者等 約16,000人

愛知県ブースでは、県その他、一般社団法人中部メディカルトラベル協会、藤田医科大学病院、医療法人偕行会、名古屋ビルセントラルクリニック、一里山・今井病院、名古屋陽子線治療センター、名古屋市緑区歯科医師会等が出展され、各々の受け入れ環境等についてPRや商談、プレゼンを行いました。



愛知県ブースでのPR風景



ブース内では来場者へ向けて
プレゼンテーションを実施

2. 愛知の医療ツーリズムについて

上述の展覧会にも参加された一般社団法人中部メディカルトラベル協会の木村慎吾理事・事務長様に、愛知の医療ツーリズムの現状や受け入れ体制等についてお話を伺いましたので、ご紹介したいと思います。

Q 1. まず、中部メディカルトラベル協会について教えてください。

A 1. 一般社団法人中部メディカルトラベル協会は、愛知のメディカルツーリズムの窓口としての役割を担っており、民間の医療機関等で構成され、医療法人偕行会や藤田医科大学病院、医療法人松柏会等が中心となって、2016年に設立されました。

海外の旅行会社からの問い合わせや外国人患者の受入れ窓口を当協会に一本化することにより、健診から治療までワンストップで行うことができ、患者と医療機関の相互に、安心・安全なメディカルトラベル環境を提供します。

中部の医療及び観光の発展に寄与することを目的として、海外から医療における訪日旅客を中部に誘致するために活動しています。事業内容としては、海外の旅行事業者に向けた中部の企画造成を促すための情報発信、海外の企業・団体に向けた中部への医療と観光を促進するための宣伝活動、官民で連携したプロモーションの実施、医療機関が外国人患者を円滑に受入れるための各業界

(民間会社)とのマッチングの実施等を行っています。

Q 2. 医療ツーリズムの受入環境や体制を、他地域と比較した場合、愛知県の優位点は何でしょうか？ また、受け入れを推進することによる地域のメリットはあるのでしょうか？

A 2. 健診から治療までが、当協会という一つの窓口で、ワンストップで行えるのが愛知の最大の優位点です。中国の医師免許を持つ当協会スタッフによる中国語での対応も可能で、問い合わせから受入可否の判断、来日に必要な諸手続きや滞在中のフォロー、帰国後のフォローや再受診の調整まで、一連の流れを当協会が担います。当協会が窓口になっているため、患者は当協会に問い合わせをすれば、県内の受入医療機関におけるすべての手配が可能です。医療機関側も、協会が窓口になっているため、言語等の障害が軽減されることで、受入に積極的になってきています。

また、医療ツーリズムは、前提として、地域医療に影響を及ぼさない範囲で、医療機関の受け入れ余力を活用して受け入れていますが、ターゲットは海外の富裕層で、実費で診療費を支払うため、通常の日本人の治療費の3倍ほどの額が支払われることもあります。医療機関は、得た収入で最先端の医療機器を導入する等の設備投資ができる他、たくさんの症例を扱うことによる医療技術の維持・向上も、地域へのメリットと捉えられます。

Q 3. 中国からの医療ツーリズム関連客の受入状況、今後の方針、課題がありましたらお答えください。

A 3. 医療ツーリズムの受け入れ実績は、大幅に増えてきています。理由としては、他地域の病院を訪れる中国人患者数が、飽和状態になってきていることが挙げられます。

県内での受け入れ数は、現在のところ、人間ドックに関しては月間30～50名、治療に関しては月間10名程度で推移しています。今後も現状の方法で進めていく予定ですが、課題としては、愛知県の知名度がまだまだ不足してい

るため、もっと愛知県についてPRしていく必要があると感じています。

木村事務長によれば、中国の富裕層が健康診断や治療のために日本に来る理由は、「待ち時間の短縮」と、「医療の信用度」が挙げられるそうです。中国においては、深刻な医師不足により、検査の受診に何ヶ月も待たされたり、腕の良い医師に診察してもらいたくてもなかなか診てもらえなかったり、また、診察を受けることはできても、CTやMRIといった検査は単体で判断されがちで、日本のような複合的な診察はなかなかできていないという状況があるそうです。そのような自国の状況があるため、中国の富裕層は海外での検査や治療を求め、加えて日本の医療への信用度の高さから、今後も日本への医療ツーリズムの需要が見込まれるそうです。

呼び込むターゲットが富裕層であること、医療行為がプラスされるため通常の観光より長い時間地域に滞在することが見込まれるため、医療ツーリズムは、観光振興や地域経済への貢献の観点からも非常に有益であり、今後、より注力していくべき取り組みであるという印象を受けます。これから海外からの医療ツーリズムに取り組んでいこうとされている県内の医療機関、また日本の受け入れ医療機関との接点を求めているという中国側の事業者におかれては、当センター、または中部メディカル協会様へ情報をお寄せいただければと思います。

上海産業情報センターでは、今後も引き続き中国の現地情報について提供して参ります。

本資料は、参考資料として情報提供を目的に作成したものです。

上海産業情報センターは資料作成にはできる限り正確に記載するよう努力していますが、その正確性を保証するものではありません。本情報の採否は読者の判断で行ってください。また、万一不利益を被る事態が生じても当センター及び愛知県等は責任を負うことができませんのでご了承ください。